

【共通】

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等	☐ 社会資源の創設（居場所づくり等）
	☐ 認知症高齢者等の支援	☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
	☐ その他（ ）	
活動テーマ	高齢化が進む地域への支援体制の構築	
地域ケア会議から 見えてきた課題	高齢者が多い市営住宅にて、地域の関係者の方からの相談は増加している。ただ、個人情報保護ということもあり、自治会の方でも情報が入りにくく、気づいた時には症状が進行した状態であり、その状態で相談機関に繋がる事が多い。早期発見・対応が出来るような仕組みづくりが必要。	
対象	地域住民	
地域特性	南津守地域は南北に長く、工場跡地にファミリー向けの建売住宅が増えた事で、年少人口の増加も見られる。ただ北部・中央部に市営住宅、南部にはワンルームマンションが多く、そこでの居住者は一人暮らしの高齢者や、高齢者世帯の転入が多く、地域との交流が希薄で孤立化が目立つ。	
活動目標	いつでも、誰でも何でも言える関係の構築	
活動内容 (具体的取組)	前年度で決まった出張相談会を3回開催した。事前にポスターや回覧チラシを作成し、周知活動を行う。相談会には、包括やランチだけでなく、生活支援コーディネーターや見守り相談室も協力していただき、2回目以降は障がい者基幹相談支援センターにも参加していただいた。相談会であった相談に対しては、素早く対応させていただき、必要に応じてその後も対応させていただいている。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	相談対象者は少なかったが、障がい者基幹相談支援センターと連携が取れ、高齢者だけでなく障がいに関する相談も受ける事が出来、相談対象者の幅が広がった。	
今後の課題	集会場を利用した開催であった事で、近隣に相談している事が分かるのが嫌だという意見や、他者の目が気になるという意見があったので、今後は相談会としてではなく、地域の方が興味のあるイベントを行う中で、相談できるような体制を構築していければと思います。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 7 年 7 月 16 日 (水)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	症状が進行した状態で相談に繋がることが多い中、生活支援コーディネーターや見守り相談室、障がい者基幹相談支援センター等とも連携し出張相談会を開催しており、今後は更に相談しやすいイベントの中での支援体制の構築も期待している。	